

# 試験報告書

平成16年7月23日

No.452-04-A-0629

財団法人 化学物質評価研究機構



1. 依頼者 有限会社ハウスシステム 殿
2. 受付日 平成16年7月14日
3. 試料 HSシリーズ土佐和紙壁紙 1点

#### 4. 試験項目及び方法

アンモニアガス脱臭性能試験：

試料紙1枚を10Lのテドラーバック内に入れ密閉した。その後、試験用ガスを充填し、経過時間ごとに試験用ガスの残存濃度を測定した。また、試験として試料を入れないものを同様に試験を行った。

試料量※ : 条件 - 1 試料紙 片表面積 138 cm<sup>2</sup>

: 条件 - 2 試料紙 片表面積 69 cm<sup>2</sup>

試験ガス : アンモニア 10 ppm、 10 L

測定温度 : 室温

測定時間及び回数 : 15分後,30分後,1時間後,2時間後,3時間後,4時間後,  
5時間後6時間後及び24時間後 計9回測定

分析方法 : ガス検知管法 (株)ガステック製

※注 : JIS A 6921:2003 壁紙 付属書2(参考)室内空間モデルにおける気中濃度増分値の算出において室内空間モデルの壁面積24 m<sup>2</sup>、室内体積17.4 m<sup>3</sup>の規格値を用いて試料壁紙のアンモニアガスの吸着試験を行う場合は、試験ガス量10 Lに対し試料壁紙の片表面積138 cm<sup>2</sup>である。この試験条件で吸着試験を行った場合は、経過時間15分後にアンモニアガス残存濃度が検出されなかったために、試料壁紙片表面積を69 cm<sup>2</sup>の量で再試験を行った。

次頁に続く

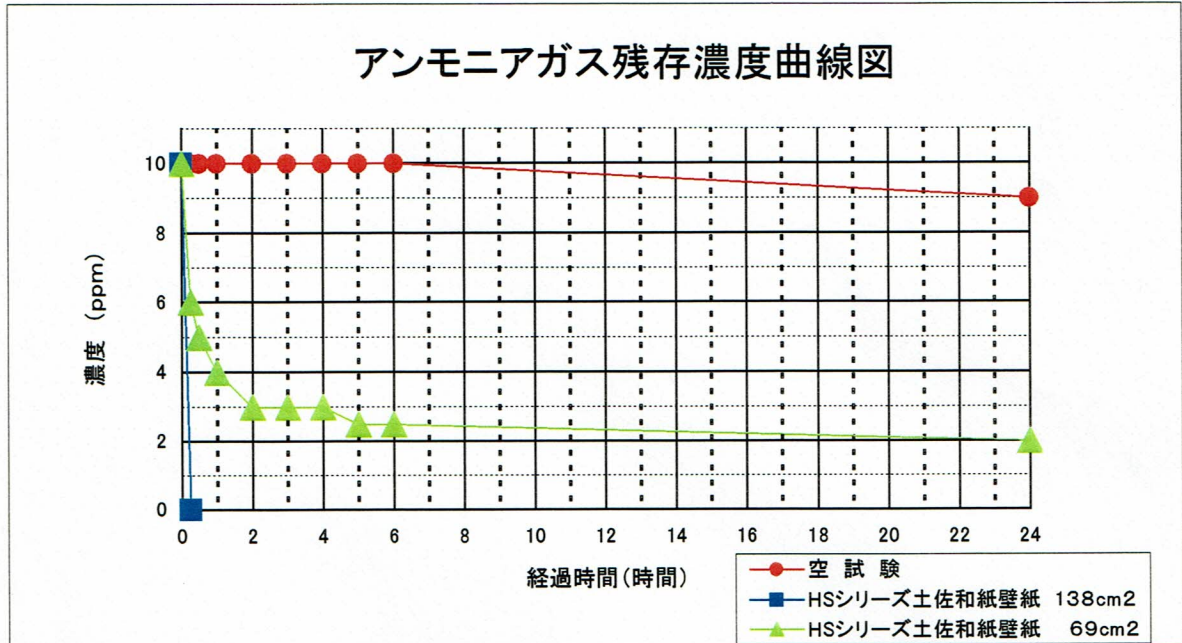
大阪事業所 〒543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝1-6-5 電話 06-6771-5157(代)

この試験報告書を転載するときは、事前に本機構の承認を受けてください。

## 5. 試験結果

経過時間	アンモニアガス残存濃度 ppm		
	条件 - 1 片表面積138 cm <sup>2</sup>	条件 - 2 片表面積63 cm <sup>2</sup>	空試験
初期値	10	10	10
15分後	不検出(0.5以下)	6	10
30分後	—	5	10
1時間後	—	4	10
2時間後	—	3	10
3時間後	—	3	10
4時間後	—	3	10
5時間後	—	2.5	10
6時間後	—	2.5	10
24時間後	—	2	8

## 6. 備考



以上

(受付No.452-04-1-0474)